

# そのけん ニュース

討議資料

発行

自由民主党千葉県  
第五選挙区支部長

前衆議院議員

そのうらけんたろう  
園浦健太郎

平成24年(2012年)  
No.24-02

## まずは行政改革から

少子高齢化など時代の変化に伴い、社会保障を維持していくための負担増の議論が盛んに行われています。消費税を含めて、避けては通れない。それは間違いありません。

ただ、負担増の前に徹底的な行財政改革をするのが筋道です。議員定数の削減や公務員の給与の問題、削減などを行っていかねばなりません。右肩上がりの成長時代に対応していた「大きな政府」から、低成長時代に見合った「小さな政府」「スリムで強靱な政府」を目指していかねばなりません。

## 廃県置州を目指そう

わが国の行政機構が国・都道府県・市町村という構造になっているのは、明治以来変わっておりません。何度か、市町村合併は行われましたが、根本的な制度はそのままです。これを思い切って変えていく必要があります。

道州制の議論がなされていますが、これをやらなければなりません。日本が大きく変わるはずです。国の出先機関、県の出先機関など、二重三重の行政を解消し、行政をスリム化する。そして地方分権ではなく、地方主権を確立して、特色のある地域づくりを目指す。中央集権から地方主権への転換を行うべきです。

国の仕事は外交や防衛、教育、社会保障など、国家としてやらなければならない分野に限定をする。そして、地域づくりやインフラ整備などの仕事は州に思い切って全部お任せをする。そして、住民サービスは市町村など基礎的自治体に行ってもらおう。根本的に行政機構を変えていく必要があります。

# 安全・安心の確保を

引ったくりの多発や、今なお被害が続出している振り込め詐欺などを考えれば、治安回復にはまだまだ取り組んでいかねばなりません。さらに、震災、津波対策や液状化の問題など安全対策も重要です。食品や住居の安全も高めていかねばなりません。

「安全」という言葉は、これからも極めて重要になってきます。防犯パトロールのボランティア、青色パトロールのボランティア。私自身も講習を受け、参加していますが、本当に大勢の方々に協力していただいています。それぞれの地域で安全を守らなければならないという意識が高まっていることを感じています。こうした活動を支援していかねばなりません。

食品や住居の安全を守ることは国家の責務です。国民の生命、財産を守ることが出来ないならば、それは国家ではありません。専門家による開かれた議論を通じ、新たな基準を策定することが必要です。

## 「そのけん」と ミニ集会をいかがですか!!

「ミニ集会」は、**菌浦健太郎**との懇談・意見交換を通じて、直接触れ合って頂く企画です。各地で開催してきましたが、国政に関する質問だけでなく、身近な問題やご要望など活発な意見交換が行われ、大変好評を頂いています。

- |       |                              |
|-------|------------------------------|
| ①人数は? | 5~10人程度 (もう少し多くても構いません)      |
| ②時間は? | 約1時間程度                       |
| ③場所は? | 開いて頂ける方のご自宅や会社など             |
| ④内容は? | お茶を飲みながら、どんな話題でもOK           |
| ⑤準備は? | 何も必要ありません。(親しい人などを集めて頂くだけです) |
| ⑥連絡は? | ご希望の日時、場所を事務所までご連絡下さい        |



前衆議院議員

そのうらけんたろう  
**菌浦健太郎**

自由民主党千葉県  
第五選挙区支部長

あだ名は小学校からずっと「**そのけん**」です。

地元事務所 〒272-0021 千葉県市川市八幡2-16-20-203

☎047-318-1001 Fax047-336-8801

E-mail sonoura@au.wakwak.com ホームページ <http://www.sonoken.org>